



新規建設事業中の新名神高速道路（大津JCT～城陽JCT・IC）大戸川橋の架設工事（張出架設工法）。

# 新規建設・6車線化

ひと、モノ、未来をつなぐ

交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時の代替機能強化や地域活性化などを目的として、高速道路の建設を推進しています。

建設進捗情報



## 1 新名神高速道路

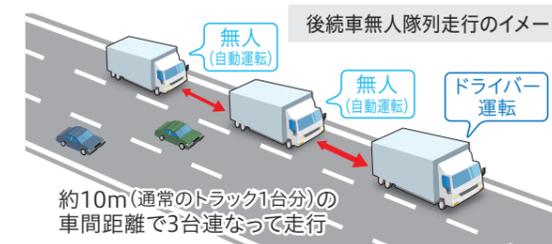
八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC 10.7km（6車線での新規建設）  
 大津JCT～城陽JCT・IC 25.1km（6車線での新規建設）  
 甲賀土山IC～大津JCT 22.5km（6車線化）

整備効果

1. 国土軸のダブルネットワーク化  
 名神・東名高速とともに国土軸の骨格を形成  
 事故・災害時における代替路として機能
2. 高速走行による所要時間の短縮及び定時性の確保
3. 物流の生産性の向上  
 ダブル連結トラックやトラック隊列走行などの次世代物流システム実現に向けた環境を整備
4. 観光産業・沿線地域の活性化



IC名称は仮称を含む



新名神 大津JCT～城陽JCT・IC 新名神大津SA（仮称）予定地



新名神 八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC 高槻高架橋 下部工工事

# ネットワークの強化

地域の発展と、暮らしや利便性の向上に貢献するより安全で、使いやすいネットワークへ

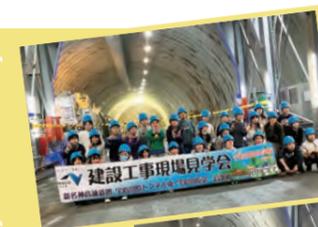


米子道（江府IC～溝口IC）4車線化工事では、完成後に添谷トンネル下り線となる新たなトンネルを建設中。



学校教育 × 高速道路

当社グループでは、地域の教育機関と連携し、建設現場や料金所等を教育の場として提供する活動を続けています。



自分も成長

地域の学校と連携した現場見学会は、開通する前から地域に貢献できる取り組みとして、やりがいを感じています。説明内容を試行錯誤することで、自身の事業理解も深まっています。

Voice

関西支社 新名神京都事務所 工務課 吉田 朋恵



建設進捗情報



スマートIC設置情報



工事規制・通行止め情報



ウェブサイト

## 2 神戸西バイパス (第二神明道路北線)

永井谷JCT～石ヶ谷JCT 6.9km

- 整備効果
1. 交通混雑の緩和による第二神明道路の事故減少
  2. 物流ネットワーク拡充による東西方向の物流効率化
  3. 第二神明道路の代替路の確保

## 3 大和北道路 (京奈和道)

奈良IC～郡山下つ道JCT、奈良北IC～奈良IC 12.4km

- 整備効果
1. 交通混雑の緩和・交通円滑化
  2. 交通の転換による、国道24号の交通事故減少
  3. 移動時間短縮による観光行動の支援
  4. 沿線地域の整備による産業の活性化

## 4 淀川左岸線延伸部

門真JCT～阪神高速接続部 1.1km

- 整備効果
1. ネットワークの拡充による大阪都市圏の交通円滑化
  2. 並行する都市高速における通行規制時の迂回路確保及び災害時の避難・救護活動を支える広域的な輸送路としての機能確保
  3. 物流の効率化による沿線地域への新たな企業進出等、地域経済の活性化

## 5 名神湾岸連絡線

西宮IC～阪神高速接続部 0.3km

- 整備効果
1. 交通の転換による阪神高速3号神戸線の渋滞緩和
  2. 新たな道路ネットワークによる物流の効率化
  3. 災害時の緊急輸送や阪神東西軸におけるリダンダンシーの確保



神戸西バイパス 樋谷工事



神戸西バイパス 菅野高架橋上部工事



支障移転の現場打合せの様子



大和北道路 横田第一高架橋下部工事

神戸西バイパス 第四平野西高架橋他1橋下部工事

### Voice 誰もが使いやすい施設をつくる

神戸市と明石市を結ぶ延長12.5kmの神戸西バイパスのうち6.9kmの建設区間の施設工事を担当しています。現在、土木工事の支障となる既設設備の支障移転工事と料金所建物の設計を実施しています。国土交通省、阪神高速道路(株)、通信事業者、工事受注者等関係者が多く関わるため、各関係機関との協議やとりまとめ、工程管理に苦労しました。女性の社員が増えてきている中、誰が使っても使いやすい施設にすることを心がけています。



関西支社 第二神明道路事務所 施設工事区 上殿 明日香



淀川左岸線延伸部 門真高架橋上部工事



2024年3月に国土交通省、阪神高速道路(株)、当社による合併施行方式が導入されました。

## TOPICS 松山道 全線開通から20年間の整備効果

松山道は、1985年の三島川之江IC～土居IC間の開通を皮切りに、2004年の大洲北只IC～西予宇和IC間の開通によって、全国の高速道路ネットワークと結ばれました。松山道の開通により、所要時間の大幅な短縮による物流の向上、四国内外の交流促進や観光動向の変化などの効果を生み出し、第二国土軸の役割を担うなど、沿線地域の経済・暮らしを支えています。



2004年大洲北只IC～西予宇和IC開通式典

**交通量推移と経済波及効果**  
利用交通量は開通から増加を重ね、約38年間で累計1億9000万台に到達  
松山道の整備による経済波及効果は、20年間で約2.1兆円

**所要時間・行動範囲の変化**  
高速道路利用者の四国外への移動人数が約8倍に増加(1985年比較)  
愛媛-大阪間の高速バスの所要時間は、約1時間30分短縮(1990年比較)  
高速バス利用者は、年間97万人を超え、多くの方に利用されている

**沿線の観光客動態**  
愛媛県外からの観光客は、約2倍に増加(1985年比較)  
交通手段別にみると、観光客の約8割が自家用車と貸し切りバスを利用

**地域生産活動と流通利便性の向上(工業)**  
愛媛県発着の貨物輸送において自動車での輸送が約2倍に増加  
愛媛県内の工場の立地が約6倍に増加(どちらも1980年比較)

**地域生産活動と流通利便性の向上(農水産)**  
大阪市場での養殖真鯛の取扱量が、約40倍に増加し、全国シェアにおいても大幅に拡大(1984年比較)

**災害時における松山道の役割**  
京阪神と九州間を結ぶ第二国土軸の役割を担っており、平成30年7月豪雨では、本州ルートに代替する最短支援ルートとして貢献



# 4車線化

安全・安心の更なる向上を目指して

## 暫定2車線区間の課題

### 速度低下・渋滞

4車線区間と比較すると規制速度が低く低速車両の追い越しができないため、後続車両を含め全体的に速度が低下し、渋滞が発生しやすくなっています。

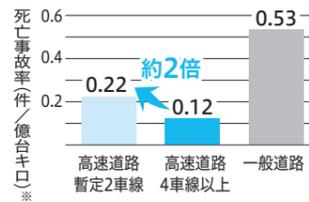


阪和道 印南IC～みなべIC

→ 時間信頼性確保

### 正面衝突等による重大事故

反対車線と完全に分離する構造になっておらず、ひとたび事故が発生すると、正面衝突に発展する等により、死亡事故等の重大事故となるおそれが4車線区間と比較すると高くなっています。



※ 高速道路: H25-R3 高速自動車国道(有料)  
一般道路: H25-R3 一般国道、主要地方道、県道、市町村道、その他道路  
出典: 自動車燃料消費量調査 月報の各年1~12月 高速トラカンデータ

→ 事故防止

事故防止の緊急対策として実施している区画柵の設置については、P.20へ

## 課題への対応 — 4車線化 —

暫定2車線区間における課題を踏まえ、お客さまの安全・安心の確保、大規模災害時の早期復旧の支援等の観点からも、暫定2車線区間の計画的な4車線化を推進しています。



東九州道 宮崎西IC～清武IC 切土による拡幅



広島呉道路 坂北IC～呉IC 4車線化工事プレスツアー



東九州道(隼人道路) 隼人東IC～隼人西IC 清水川橋下部工工事

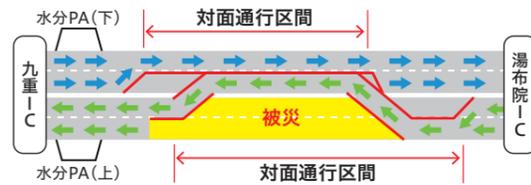


徳島道 脇町IC～美馬IC 脇大谷川橋下部工工事

### 通行止めの発生や長期化

- ・ 事故や積雪等による立ち往生発生時に追い越しができず通行止めとなります。
- ・ 大規模な工事を実施する際に、長期間の通行止めが必要となります。
- ・ 災害発生時における全面通行止めの解除に時間がかかります。

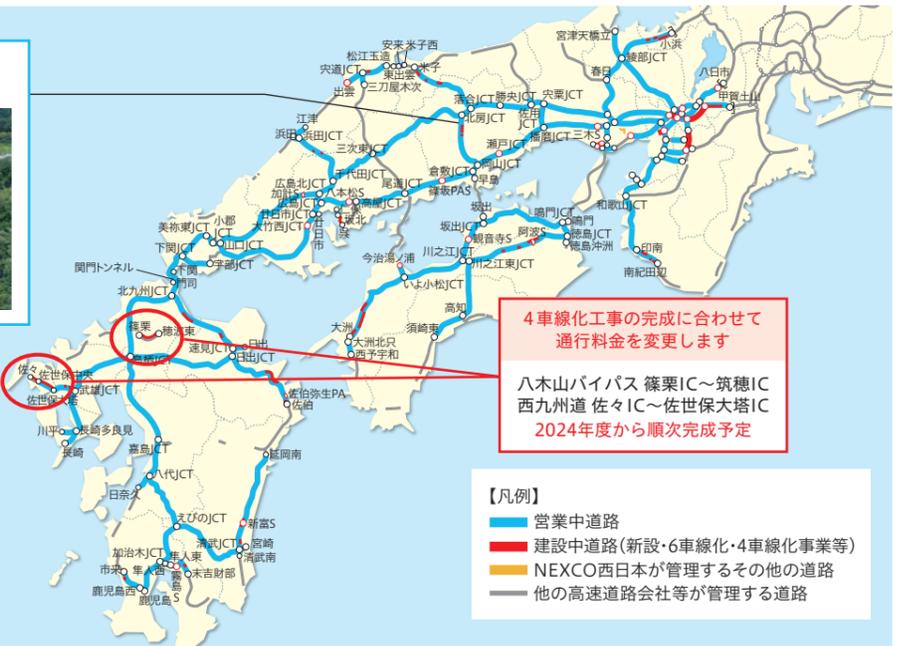
→ ネットワークの代替性確保



「令和2年7月豪雨」の被災事例

4車線区間では、上下線のいずれかが被災しても残る車線を対面通行とすることで、早期に交通機能を確保し、復旧支援や緊急物資運搬等に大きく貢献できます。

岡山道 有漢IC～北房JCT 約1.2km  
2023年8月9日 4車線化完成



## TOPICS 4車線化工事の完成に合わせた通行料金の変更

有料道路事業の導入により4車線化事業を行っていた以下の2路線が、2024年度から順次完成します。完成後、国土交通省から当社に管理が移管され、通行料金の変更となります。

### ● 西九州道 佐々IC～佐世保大塔IC

佐々IC～佐世保中央ICの4車線化完成に合わせて新たな料金へ切り替え



### ● 八木山バイパス

2024年度内の篠栗IC～筑穂ICの4車線化完成に合わせて料金徴収を開始



【凡例】 — NEXCO有料道路(事業中) — NEXCO有料道路(供用中) — その他有料道路(供用中) — 主要一般国道

通行料金の詳細については下記ニュースリリースを、完成時期等の最新情報は当社ウェブサイトをご確認ください。

西九州道の料金に関するニュースリリース

八木山バイパスの料金に関するニュースリリース

ウェブサイト(最新情報はこちら)



ささぼシーサイドフェスティバルでは、パネル展示やETC利用促進の個別説明を実施

Voice

お客さまと一緒に、スムーズに完成を迎えるために  
佐世保道路4車線化事業に伴う長期夜間通行止めの周知や、ETC利用促進を目的としたETC割引制度の紹介など、イベント等の多様な手段を通して、事業理解や完成後の利用しやすい高速道路に向けた広報を強化しています。  
今後は、4車線化完成に伴う料金変更について事前にお客さまにご認識いただき、スムーズに完成を迎えられるよう、引き続き広域的な広報を展開していきます。

九州支社 佐世保工事事務所 工務課 古川 隆一  
佐賀高速道路事務所 総務課 吉村 妃菜希

# スマートIC

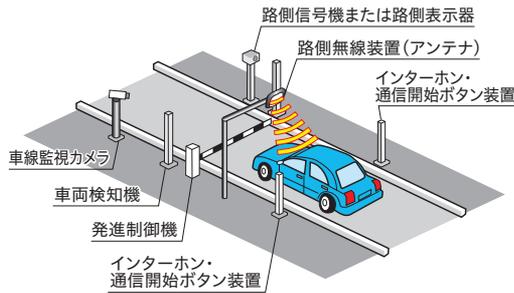
## 地域へのアクセス向上

スマートIC設置情報



スマートICは、高速道路の本線やSA・PA、バスストップから乗り降りができるように設置されたICです。通行可能な車両を、ETCを搭載した車両に限定しているため、簡易な料金所の設置で済み、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

スマートICの整備により、市街地や観光地へのアクセスが向上し、高速道路が更に利用しやすくなります。当社では、2004年12月に初めてスマートICが開通し、現在は39カ所のスマートICが開通済みです。また、11カ所で新たなスマートICの建設事業を進めています。



建設事業中スマートIC 11カ所 (名称は仮称を含む)

開通

2024年6月9日開通  
小郡鳥栖南スマートIC



開通

2024年3月23日開通 東温スマートIC



東温スマートIC、小郡鳥栖南スマートICの出入口には「環道型退出路」を採用し、ランプ形状をコンパクト化



スマートIC入口利用時

voice

松山道 東温スマートICの開通によせて

今回の東温スマートIC開通は、各主要都市へのアクセス向上や救急医療・防災の体制強化など、様々な波及効果を生むものと期待しています。

東温市ではこの好機を最大限に活かし、周辺エリアにおいてアクセス道路や工業団地、スポーツ拠点の整備などを「チーム東温」で一体的に進めることで、安定した雇用の創出や地域経済の活性化につなげ、人口減少に負けないまちづくりを進めてまいります。

東温スマートIC開通をきっかけに「東温市」の名前を覚えていただき、緑豊かで「温か笑顔」にあふれる元気なわがまち、東温市にぜひともお越しください。



愛媛県 東温市 加藤 章 市長